

来年の統一地方選挙

戸塚区市議候補



大和田あきお

日本共産党戸塚区 なんでも相談室長
日本共産党戸塚区教育文化部長

大和田あきおの市政改革ビジョン

- 自由と平和を貫く市政の実現
 - ロシアによるウクライナ侵略反対
 - ロシアは国連憲章を守れ
 - 憲法9条を生かして市民のくらしを守る市政実現
- 一人ひとりの生徒の学習と成長を保障する学校教育
 - 小中学校・高校の30人以下学級の実現
 - 子どもたち一人ひとりの意見表明の保障、生徒主体の学校づくり
 - 全員喫食の自校方式による中学校給食の実現
 - 授業料無償化と給費制奨学金制度の実現
- コロナ禍で苦しむ、すべての人に支援が行き届く市政の実現
 - 医師、看護師、保健所などの拡充
 - 子どもの医療費無料化
 - 18歳以下の均等割り廃止による国民健康保険料の軽減
 - 出産費用の無料化
 - 敬老バスの現行制度の無料化
 - 非正規労働者、飲食店など各種業者への経済的支援

岩崎ひろし市議から大和田あきお氏へバトンタッチ

大和田あきおさんが

私の後継者です



横浜市議員 岩崎ひろし

日本共産党 横浜市内会議員 岩崎ひろしです。

現在、横浜市議会議員4期目を努めています。来年4月には、改選期を迎えます。

これを機に、市議の任務を、後進にたくす判断をしました。

後継の候補者は、「大和田あきお」さんです。

私は、日本共産党戸塚区の候補者・議員として28年間、活動してきました。

これまで、支えていただいた皆様に心から感謝申し上げます。

大和田あきおさんは、前回地方選で県会候補として14136得票し善戦・健闘しました。

昨年8月の市長選挙で市民と野党の共同組織「戸塚区民の会」事務局長として山中市政誕生に大きな役割を果たしました。

また、この4年間、私と一緒に、なんでも相談に取組む、要請実現の取り組みも十分に経験してきました。

山中市長の公約実践を支援するうえで、ついでにつけの人は、

「戦争か 平和か」、「大規模開発・大企業優先か、市民のくらしを守る市政か」、このことが鋭く問われる時代です。

模範発・大企業優先か、市民のくらしを守る市政か、このことが鋭く問われる時代です。

「平和が一番。憲法・9条を生かした市政の実現」を掲げ、高校教員42年の大和田あきおさんが大いに活躍する時です。

これまで岩崎ひろしにお寄せいただいたご支援を大和田あきおさんにお願いたします。

私は、2023年4月まで、市議員の責務を全うするとともに、戸塚区の大切な市会議席を大和田あきおさんに引き継げるように全力を挙げます。

大和田あきお 挨拶

勇気を出せと言えるのか」と。

28年間、日本共産党の候補者・議員として活躍された岩崎ひろし市議の後継候補として決意した大和田あきおです。市民のみならず、多くの市民のみなさんと力を合わせ、

私は、42年間、県立高校の教員を務めてきました。教師になって4年目に、同僚の教師から、日本共産党への入党を呼びかけられました。

そのとき、私が入党を決意したのは、同僚の心からの力強い訴えと共に、『私が先生になったとき』という詩の一文に大きく心を揺り動かされたからです。「私が先生になったとき、自分の闘いから目をそむけて子どもたちに